

社会資本総合整備計画 事後評価書

たいじちようぼうさい すいしん
太地町防災まちづくりの推進

ぼうさい あんぜん
(防災・安全)

平成28年4月27日

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成28年4月27日

計画の名称	1 太地町防災まちづくりの推進(防災・安全)																									
計画の期間	平成20年度～平成22年度(3年間)					交付対象	和歌山県太地町																			
計画の目標	<p>紀伊半島の南東部に位置し、太平洋に面した沿岸地域が多い本町は、東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されており、津波による災害が予想され町内には4箇所の津波避難困難地域があります。県の「津波から『逃げ切る!』支援対策プログラム」検討委員会においても、解消対策として1箇所は新たに避難場所を指定することによって解消できるが、残りの3箇所については、近くには高台や避難ビルに指定できるビルもなく、なんらかの避難施設の整備が急務となっている。このことから3箇所を新たに防災拠点施設として年次をおって整備する。</p> <p>平成20年度より太地地区内に津波避難施設を順次整備し、初年度となる平成20年度は津波災害時に利用するだけでなく、通常時には地域の消防団、地域住民が利用できる「津波避難複合施設」を建設する。平成21年度には、同じく太地地区内に災害時資器材及び備蓄品を保管できる倉庫を兼ね備えた「津波避難施設」を建設する。平成22年度には、森浦地区内に防災まちづくりの拠点となる集会所、備蓄機能を備え大規模災害時の2次避難所としての機能を果たす「津波避難複合施設」を建設する。</p>																									
計画の成果目標(定量的指標)	津波避難の困難性が高い地域に津波避難施設を整備し、地域住民の避難困難者の安全を確保し、防災まちづくりの推進をはかる。																									
定量的指標の定義及び算定式											備考															
											<table border="1"> <tr> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H20当初)</th> <th>(H21末)</th> <th>(H22末)</th> </tr> <tr> <td>太地地区・森浦地区における避難可能な人数の割合 太地地区117名・森浦地区40名</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </table>	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H20当初)	(H21末)	(H22末)	太地地区・森浦地区における避難可能な人数の割合 太地地区117名・森浦地区40名	0%	50%	100%	
定量的指標の現況値及び目標値			備考																							
当初現況値	中間目標値	最終目標値																								
(H20当初)	(H21末)	(H22末)																								
太地地区・森浦地区における避難可能な人数の割合 太地地区117名・森浦地区40名	0%	50%	100%																							
全体事業費	合計(A+B+C)	107百万円	A	107百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)		0.0%															
事後評価																										
1. 交付対象事業の進捗状況																										
交付対象事業																										
A 基幹事業																										
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考									
											H20	H21	H22	H23	H24											
1-A-1	都市防災	一般	太地町	直接		太地町		都市防災総合推進事業	津波避難施設 (防災複合施設1棟)	太地町						39										
1-A-2	都市防災	一般	太地町	直接		太地町		都市防災総合推進事業	津波避難施設 (避難タワー1棟)	太地町						29										
1-A-3	都市防災	一般	太地町	直接		太地町		都市防災総合推進事業	津波避難施設 (防災複合施設1棟)	太地町						39										
小計(道路事業)											107															
合計																										
B 関連社会資本整備事業																										
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考										
										H20	H21	H22	H23	H24												
合計																										
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考															

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H20	H21	H22	H23	H24		
小計（道路事業）																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

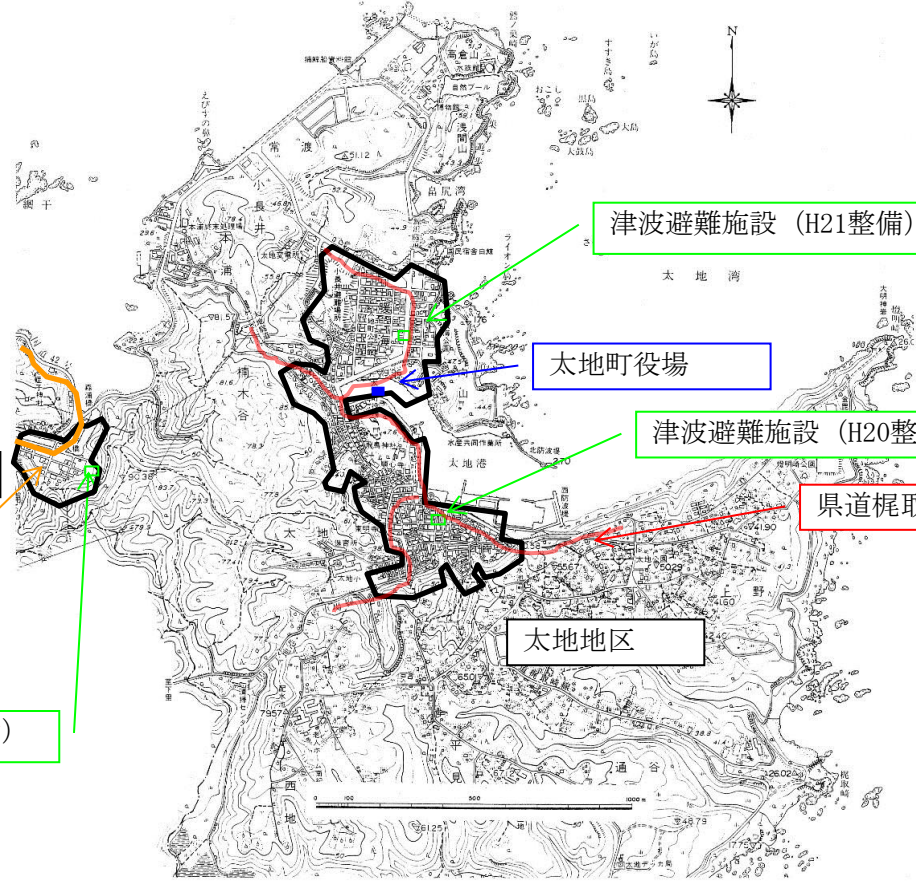
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		津波避難困難地域の3地域への「津波避難施設」の建設により、地区住民の避難困難の解消と新たな防災拠点施設として津波災害時に利用するだけでなく、消防団活動や地域住民の防災学習会、災害時資器材及び備蓄品保管庫として「自分の命は自分で守る」という防災啓発の向上にも寄与されている。				
II 定量的指標の達成状況	指標①(津波避難施設の整備率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	100%			
	指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値				
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		・町広報誌やホームページ、町内回覧等により周知				

3. 特記事項（今後の方針等）

今世紀前半に発生する可能性が極めて高いといわれる東海・東南海・南海地震の津波に備え、平成20年4月公表された「津波から『逃げ切る!』支援対策プログラム」に沿って、指摘された避難困難地域の4箇所について早急に地震・津波対策を実施してきました。しかしながら、平成23年に東日本大震災が発生したことにより、新たに南海トラフ巨大地震の地震災害を含む津波浸水浸水想定及び地震被害想定が発表され、南海トラフ地震に関する地震防災対策の推進に関する特別措置法に関する地震防災対策の推進に関する特別措置法第10条の規定の基づき、平成26年3月に南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定された太地町の想定は、最大津波高13メートル、最大浸水深8メートルにより死亡率74%で県内第1位、建物倒壊・焼失全壊率67%でこの状況下において県下唯一町全体が孤立すると予測されています。また、津波到達時間予測は5分～11分であり、避難可能時間も非常に短いため、より一層の早期避難を徹底する必要性を指摘されているところでもあります。このようなことから、今後も町民の生命と安全安心の更なる確保のため、地震津波対策として防災基盤の整備を講じてまいります。

市街地整備(現況図)

計画の名称	□太地町防災まちづくりの推進		
計画の期間	□平成20年度～平成22年度(3年間)	交付対象	□和歌山県太地町



森浦地区

津波避難施設 (H21整備)

太地町役場

津波避難施設 (H20整備)

県道梶取崎線

太地地区

国道42号

津波避難施設 (H22整備)

